

# 皆で愛情込めて育てています

## 飯澤 野乃花

(平成 29 年度 畜産学科 卒業)

就農年	平成 31 年
就農地	日立市
経営品目	常陸牛、堆肥



### 【農業大学校に入学したきっかけ】

もともと動物が好きだった私はトリマーになるのが夢でした。しかし『銀の匙』という漫画の影響で中学二年生のころから畜産に興味をわき始め、地元福島県の農業高校に進学することに決めました。高校生活が始まってからは、黒毛和牛の繁殖牛の世話をするために、ほかの誰よりも牛舎に通ってブラッシングや床掃除、給餌など毎日放課後は牛舎に行っていました。

高校卒業間際になって、福島の復興のために地元の農大に行くかで迷いましたが、オープンキャンパスに行った際に、茨城農大では『朝 4 時半から牛の搾乳作業をしています』という先輩方の言葉に惹かれ入学を決意しました。

### 【在学中の思い出】

平成 29 年度の畜産学科は私を含め、3 人しかいなかったもので、当番はとても大変でした。しかし、先生をはじめ、先輩、後輩、他のコースの子たちまで手伝いに来てくれることもありとても楽しかったです。もちろん、失敗もたくさんしました。牛を脱走させてしまったこと、牛乳を溜めておくバルククーラーの栓を閉め忘れて流し切ってしまったこともあります。一方で人数が少なかったおかげで、トラクタやローダーに乗っての作業がたくさんできました。他には、出産に立ち会う経験や亡くなってしまう牛を看取るという経験もしました。つらいこと悲しいこともありましたが、当番や実習の時間がとても楽しかったです。

### 【就農を決意したきっかけ】

中学 2 年生のころから牛との生活に憧れていた私は、迷うことなく牧場への勤務を目指し、自分に合った就農先を見つける為見学や体験を重ねました。そんな時、加藤牧場を先生に勧められました。加藤牧場では、デントコーンサイレージや、エン麦の生産、牛舎から出た堆肥を畑に肥料として戻すだけでなく、袋詰め、販売、配達まで行っていました。また、血統や体格等に恵まれていない子牛を買い付け、ほとんどの牛を『A 5 ランクの常陸牛』として出荷しているところに魅力を感じ「アットホーム」な環境にも惹かれ、就職を決めました。

### 【現在の取り組み】

私は今年の 10 月に中型自動車の免許を取得しました。今までは場内で堆肥を運ぶのに乗っていましたが、これからは家畜車に乗って牛を運ぶことができるようになります。その仕事を安心して任せてもらえるように、ダンプだけでなく軽トラやローダー等の運転に気を遣って接触事故などを起こさないようにしています。また、来年の 3 月で就農 4 年目ということもあり、これから入ってくる後輩に指導するうえで、まずは基本である、自分の持ち場（牛舎 5 棟：育成後期から出荷前までの約 300 頭の肥育牛の管理）の整理整頓、鉆塩の補充などの管理に努めたいと思っています。



デントコーンの収穫

(息を合わせたハーベスターとダンプの並走作業です)



常陸牛の生産

(愛情込めて育てています)

### 【これからの夢や目標】

まだまだミスをすることもあり、助けてもらうことが多いです。また、時間内に仕事が終わらないこともあります。まずは、与えられた業務を時間内に終わらせられるようにスピーディかつ丁寧に仕事ができるようになりたいです。また、体調不良の牛を早期に発見することや「こんな症状にはこの薬で対処する」、「この薬を使ったら 1 週間は出荷できないよ」といった治療についても勉強していきたいです。さらに、大型自動車免許取得など、挑戦してみたいことはたくさんあります。

### 【これから「農業を学びたい人」や「就農したい人」へのアドバイス】

私は農業を学び、就農するうえで一番大事なことは【挨拶】だと先輩方から学びました。言われた仕事をこなすことも大事なことです、相手に聞こえるように、大きな声で挨拶することは、気持ちよく仕事をするのに必要不可欠なものだと思います。

また、学生のうちは挑戦できる時期なので、トラクタなど農業機械には、積極的に乗り経験しておいた方がいいと思います。



牧場はきれいな花に囲まれています

(これから牧場内に植える花苗です)